

姫路南プロバスクラブ

二水会

令和5年12月



会報120号

10月例会報告 11月例会報告

お荷物ですか
ユダヤ人
ハロウィーン
サルコペニア
祭り屋台の照明
こわれたシューズでZOZO観戦
人生二度あり
ゴルフ

岡本浩一
長谷川一彦
川本祥子
中野剛
藤原関夫
前田外美子
松下秀明

10月例会報告

令和5年10月11日(水)12:00~14:00

出席16名(伊藤様が参加) 欠席2名

大橋会長挨拶

10月11日例会—グルメの会:

家島のうまい魚を食べよう

開会挨拶(家島町宮 割烹旅館 志みず)

大橋一喜

姫路—家島間の船は、速くなりましたね。

30分で到着です。私の感覚では、1時間はかかるとおっていました。30分でも船旅は風情があります。旅をしてきたような実感が沸きます。

当会の今年の事業計画では、諸般の事情を配慮して、研修バス旅行を計画に挙げておりませんでした。グルメ探訪の同好会が計画しました“家島のうまい魚を食べよう”という計画に便乗いたしまして、参加者を募りましたところ、2名の欠席を除き、16名の会員が参加してくださいました。中に休会中の伊藤さんも西宮から、遠路はるばる、久しぶりに参加してくださいまして、感激しております。今日の行事で、バス旅行なしの事業計画の穴が埋まったような感があります。

本日の計画を発案された藤原企画委員長、そして計画実行のため、何かとお世話して下さった坪田さんにお礼を申し上げます。

それでは、まずはみんなで乾杯の盃を上げましょう。“ご参加の皆様のご健勝と今後ますますのご活躍を祈念して乾杯!”

家島でグルメの会

2023年10月11日(水)に家島でグルメの会を実施。ここで家島について

家島は いえしま、えじま、えしま とも言われている。かつては飾磨郡家島町に属していたが、2006年に姫路市と合併した。人口は2137人。姫路市沖には40余り家島諸島が有りその中



の4つの島、家島、坊勢島、男鹿島、西島に約5千人が暮らしている。古くから瀬戸内海を通る多くの船舶の避難港として利用されてきた。現在の島の産業の中心は、男鹿島や西島から切り出された石材の運搬業、造船業及び漁業である。

このグルメの会の参加者は16人(欠席2人)、久しぶりに西宮から伊藤さんも参加。姫路港に行くのにバス組と自家用車組に分かれ、バス組は10時30分に姫路駅を出発。

姫路港に10時30分に到着。ポートセンターに15人が集合、一人の遅刻者が出たが定期船「まうら号」は時間通り11時5分に出港。白波を立てながら走る船に久しぶりに水の上のスピード感と快適さが気持ちよい。

11時半ころ宮港に到着。ここから食事をするところ「志みず」へは、元気に歩く人と用意され





た車に乗って行く人に分かれた。間もなく島魚のオーベルジュ「**割烹旅館 志みず**」に到着。いよいよ家島の新鮮な魚介類を使った郷土・創作料理が楽しみ、播磨の旬の地酒が楽しめると皆期待いっぱいです。一同レストランに集まり先ず会長の乾杯の音頭。そして間もなく遅れて到着した人を入れて2度目の乾杯。料理が次から次へと運ばれ、笑顔が絶えないこの主人の説明を聞きながら大いに楽しく美味しく食べ、また播磨の旬の酒「奥播磨」などを飲みながらの話も大いに弾みました。この会を振り返ると、姫路港までバスの中で皆とおしゃべりしながら、また姫路港からは定期船に乗り白波を立てながら走る船の居心地を楽しむ正に小旅行でした。今回の例会「グルメの会」は、「**グルメ付き小旅行**」と言ってもいい例会になりました。

益田信行記

11月例会報告

令和5年11月7日(火) 11:20~14:30 出席17名 欠席(見学会)3名
昼食後にタクシー3台と自家用車も含めて参加者14人が11時50分ころホテルを出発しました。

場所：神戸新聞播磨製作センター見学

神戸新聞製作所センターは19年5月、兵庫県北部(中播磨、西播磨、東播磨、但馬)へ新聞を迅速に配送する印刷拠点として稼働し、今年5月で丸4年を迎えています。

到着後一行は、集合写真などを撮影後に施設に入り、DVD「神戸新聞ができるまで」視聴しました。同社のきめ細かい取材網や、分かりやすい紙面作りの工夫などを学びました。輪転フロアでは轟音をたてて高速印刷される夕刊や、予備の巻取紙を補完する立体紙庫、新聞の束をトラックに積み込む過程などを見学しました。

地下ピットでは、震度7に耐えられる41個の免振ゴム(建物の基礎部分)を間近に見学しました。また25年前の震災時の神戸新聞紙面が映像で映し出され、将来の大地震への備えの大切さ(防災意識)を再確認しました。

最後に、印刷工程の復習や質疑応答などで見学会を終えました。

長谷川一彦

見学特別号

超高速！これが最新印刷だ

神戸新聞

2023年(令和5年)

11月7日
火曜日

発行所

神戸新聞

〒650-8571
神戸市中央区東川
1-5

播磨製作センター

播磨製作センターを見学



播磨製作センターを訪れた「姫路南プロバスクラブ」のみなさん

姫路南プロバスクラブ

「姫路南プロバスクラブ」のメンバー14人が7日、神戸新聞播磨製作センター（令和元年5月稼働、姫路市四郷町）を訪れた。

同センターは19年5月、兵庫県西北部（中播磨、西播磨、東播磨、但馬）へ新聞を迅速に配送する印刷拠点として稼働し、今年5月で丸4年を迎えた。一行は玄関先で集合写真などを撮影後に施設に入り、DVに施設に入り、DV「神戸新聞ができるまで」を視聴した。同社のきめ細かい取材網や、分かりやすい紙面作りの工夫などを学んだ。輪転フロアでは轟音をたてて高速印刷される夕刊や、予備

の巻取紙を保管する立体紙庫、新聞の束をトラックに積み込む過程などを見学した。地下ピットでは、震度7に耐えられる41個の免震ゴム（建物の基礎部分）を間近に見た。また、25年前の震災時の神戸新聞紙面が映像で映し出され、将来の大地震への備えの大切さ（防災意識）を再確認した。最後に、印刷工程の復習や質疑応答などで見学会を終えた。



神戸新聞が届く
取材→編集→印刷→輸送

カラー印刷の
黒→青→赤→

印刷は巨大な

【研修親睦委員会】

第7回3クラブ合同ゴルフコンペの予定
10月30日 赤穂国際CC

◇ 10月委員会報告事項

【総務委員会】

- ①10月の誕生 該当者なし
- ②11月例会予定

神戸新聞播磨製作センター見学

【会計】

ニコニコ報告

伊藤会員：久しぶりに皆様とお会いできて嬉しい限りです。私も頑張らなくちゃ！！

◇ 11 月 委員会報告事項

【総務委員会】

1 1月の誕生 該当者なし

1 2月例会予定

1 2月13日(水) 12:00~

忘年例会(桃季)

【研修親睦委員会】

1 0月30日 第7回3クラブ合同ゴルフコンペ開催

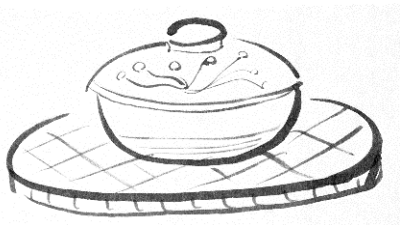
同上 第51回親睦ゴルフコンペ開催

【会計】

- ① ニコニコ報告 濱口会員:いつもニコニコ
- ② 1月例会時に後期会費お願いします。

阪神優勝

姫路南プロバス会員のなかには阪神ファンが多いようです。38年ぶりの関西対決を制し日本一になった阪神タイガース熱狂的なファンの喜びはたいへんなものでした。岡田監督は現役時代にも優勝を経験し12球団最年長の監督としてリーグを制した。岡田語録の‘あれ’なども話題になりました。神戸新聞播磨製作所見学の際阪神日本一の号外ももらいました。



お荷物ですか

岡本浩一

日本は近い将来、超高齢社会になるのでは。総人口に占める65歳以上の割合は1950年以降はじめて減少し3,623万人、しかし割合で言いますと最高の29.1パーセントになり高齢者の数が若い人たちよりも多くなり、若い世代が支えなければいけないから大変だとよく言われます。

この若い世代が支えるという言い方は高齢者をお荷物扱いにしているような印象を受けませんか。

若い人たちには、多くの高齢者が自分で何も出来ずにただ助けを求めていると、想像して暗い気持ちになっているのではないのでしょうか。

現在の高齢者の人たちや、間もなく高齢者の仲間入りする人たちも、他人に頼らねばならないのかと不安になっているのではないのでしょうか。

現在の高齢者はお荷物なんかではありません。

ある研究所の調査では65歳以上の人の大半が自立した生活をしているようで、95パーセントの人が歩くことも、食べることも、入浴も自分一人でちゃんと出来ている。外出したり、買い物や預貯金の出し入れも80パーセント以上の人が出来ているそうです。手助けされなければ何も出来ない、これは誤解では。

高齢者の歩く能力、視力、聴力の健常人の割合が年々増えているそうです。若い世代に負けてしまう事も多くあります。

しかし、記憶の内容を活用する能力は、経験がある分、若い人より優れていると言われます。体力そのものの免疫機能が年齢と共に下がっていくのは仕方がないことですが、機能によってはかえって高くなる事もあるそうです。「寝たきり」になって何年も過ごすのはいやだと思います。国の調

査などでは「寝たきり」になる人は意外に少ないようです。1か月未満が過半数を占め、3ヵ月未満までを含めると全体の7割、1年以上「寝たきり」になった人はわずか8%に過ぎないそうです。

最近の研究では、人は終末期まで能力を保つと考えられています。自立して生きる力があるようです。

高齢者は若い世代の方々が支える相手ではなく、一緒に社会を作っていく仲間だと思って下さい。高齢者はまだまだ貢献できると自信を持ちましょう。



話は変わりますが、働き盛りのころ頑張り過ぎてという話。

がんばり過ぎて心身のバランスを崩して、病になってしまう人も。こんな人は性格的に共通した特徴があると言われます。それは、次の三点です。①生真面目で誠実②責任感が強い③周りの評価を気にする、このような性格は決して悪いことではありませんが、度を越して強くなりすぎると、そのために心身のバランスを崩してしまう原因になってしまいます。「生真面目で誠実」「責任感が強い」という性格の持ち主が与えられた仕事を問題なく成し遂げるために、過労そしてストレスがたまり、病になってしまうケースが良くあります。問題なく仕事を成し遂げたいとい事は当たり前の心構えかも知れませんが、このような人は周りの人から「あの人はまじめで誠実だ。責任感が強い」と思われたいのです。そのため、度を越して頑張り過ぎてしまうのです。

このタイプの人がある心身のバランスを保ち、成果を上げていくためには「真面目になり過ぎない」「誠実すぎなくてもいい」「周りの評価などあまり気にしない」という事をこころがけ「適当に生きていく」ほうが長く元気に働けるのでは。また、人に自分の気持ちがうまく伝わらない時、つい気分を害してしまい、なぜわかってくれない、と感情を爆発させてしまうことも有るかもしれません。「どうしてわかってくれないのか」というのは自分勝手な願いであって他人はそもそも初めから自分の気持ちなど分かってくれないものなのです。最初から「他人は自分のことを直ぐにはわかってくれない」という気持ちでいるほうが良いのではないのでしょうか。

焦らず、慌てず、じっくりと自分の気持ちや考えを伝えていけばわかってもらえる時が来ます。その時が来ることを信じるのが平常心を保てるのではないのでしょうか。わたしの勝手な思いかもしれませんが。

ユダヤ人

長谷川一彦

世界中にユダヤ人はたった1400万人ちょっとです。世界人口の0.2%ですがノーベル賞受賞者の22%(2020年現在)純資産100億円以上の富豪の約50%がユダヤ人です。ユダヤ人は政治、自然科学、社会学、芸術、音楽、文学、ジャーナリズムなどの分野にきら星のような成功者がいます。スポーツだけは苦手です。マルクス、アインシュタイン、オッペンハイマー、トロツキー、キッシンジャー、ドラッガー、ロスチャイルド、ピュリッツァー、オッペンハイマー、サミュエル、(シェル石油)、シトロエン、ロイター、ジョージ。ソロス、などきりがありません。ユダヤ人がいなかったら今日の世界の社会科学や科学技術は進

歩していなかった。ナチス、ドイツの科学技術も低いままでしたでしょう。ユダヤ人が何か大きな業績を残すと「あれはドイツ人だ」と言われ、悪いことをすると「ユダヤ人は人類の敵だ」といわれてきました。ユダヤ人は数千年間国なくさまよい、馴染みのない国で生き残るには その国の言語と文化を学ばなければなりません。この新しい文化を受け入れる過程で創造力が培われました。ユダヤ人は地上で初めて民主主義を実現した民族です。また古代ユダヤ社会から平等主義が存在し、平等に全員が教育を受けました。学ぶことと生活が一体となり「聖書」を研究していたほか多くの本を生みました。聖典である「タルムード」はこの典型的なものです。「タルムード」は“偉大な研究”という意味で250万字からなるユダヤ民族の生活規範の集大成で数百年かかって編集されたのです。「ヘブライ」という言葉はヘブライ語で“もう一方にたつとか相対する”という意味です。『ユダヤ人は常にもう一方の見方を探す』このような訓練によって作られた知的好奇心に満ちている民族です。この知的好奇心は何千年の学びの伝統によって育てられました。三日間「タルムード」に触れないものはユダヤ人ではないとまで言われています。幼い頃から学ぶことはユダヤ人の民族的伝統です。学ぶこと、教育こそはユダヤ人にとって何より重要なのです。ユダヤ人は学ばないとユダヤ人になれないのです。



ハロウィーン

川本祥子

ハロウィーンはキリスト教が起こる以前アイルランドの信仰だった古代ケルトの魔除け行事に起源を持ちその流れを汲んだキリスト教の祝日に由来するイベントです。11月1日が諸聖人の日（万聖節）という祝日でハロウィーンはその前夜祭なのです。ハロウィーンの夜にはあの世とこの世の間の門が開け放たれ亡くなった人の霊がこの世にやってくると信じられていました。日本でのお盆のような感じです。

霊とともに悪霊や魔女がやってくるといふ言い伝えもあり仮装して身を守ったといわれています。30年余り前日本人の若者がTrick or treat と言ってある家を訪ねておかしを貰おうとしました。その家の主は東洋人の彼を怪しいと思い Freeze—動くな—と言った。彼は please と聞き違い近づいていき射殺されました。覚えておられる方も多いと思います。昨年は韓国でハロウィーンの人出があまりに多すぎ群衆雪崩が起こり150人余りの人が亡くなりました。今年は日本でもそんな事態を恐れ警察の警備が厳しく渋谷区も来ないでという通達を出したりして大丈夫だったようです。無事に終わったようです。

知っていますか？サルコペニア

中野 剛

加齢や疾病により筋肉量が減少することで全身の筋肉低下又は筋力又は身体機能が低下することです。転倒やふらつきなどの原因になり、寝たきりになる可能性も出てきますので高齢者は注意が必要です。サルコペニアになると①階段の上り下りや外出がつかなくなる。②転倒や骨折しやすくなる。③飲み込む力が低下する。④歩くスピード

が遅くなる。⑤感染症や糖尿病のリスクが高まる。

これらを予防するには適切な食事と運動の療法に取り組むことが大切です。

○栄養のある食事を取る；筋力を作るたんぱく質を含む肉や魚、乳製品や卵など

○筋力量を増やす運動をする；スクワットやダンベルや、やや重いもので腕を鍛える。加齢や疾病により外出を控えて運動の機会が減り、高齢者は筋力の低下がより進みますので、家の中でもできる範囲で体を動かしましょう。

もしかしたらサルコペニアかも？

- ・ふくらはぎの太さが、男性 34cm 未満、女性 33cm 未満
- ・握力が、男性 28kg 未満、女性 18kg 未満
- ・椅子から立ち上がるのに 12 秒以上かかる皆様どうでしたか？

祭り屋台の照明

藤原 関夫

地元の祭り屋台の照明を数年来引き受けています。コロナのブランクで4年ぶりによく今秋に再開しました。姫路郊外の子供が2人乗る小さな屋台ですが、逆に自由に好き勝手に照明を工夫しています。

バブルの頃に住宅地が造成され、祭りが盛んな浜地域から数世帯が引っ越してきて、一気に祭り屋台を造ろう、となったようで



す。私が住み始めてしばらくして祭り担当の役が回ってきました。祭りの準備など裏方が中心です。担ぐ体力もありませんから、電気の知識を活かして当初豆電球だった照明をクリスマス用 LED 照明に交換しました。

結果、見違えるほど明るくなりました。またトラック用バッテリー2個で1時間も持たなかったのが乗用車用1個で2時間以上点灯して屋台も軽くなり、照明は藤原に、となりました。

宵宮は地元のスーパー駐車場で3地区の屋台の練り合わせがあります。比較することで優劣が明快に表れます。祭りの打ち上げでは改良点や希望を酔った頭で聞き、毎年進化し続けています。

その後、豆球の発光部分が見える直接照明から見えない間接照明に変えました。参考にと浜地域の魚吹神社の宵宮を見学し、一つの屋台だけが間接照明でした。彫り物や屋根の金具が浮かび上がるように輝いていたのが印象的でした。

今年は、屋根の LED 間接照明を6ブロックに分けてマイコンで明るさを変調して、波打つような揺らめきを演出しています。担いだときは、自動でさらに明るく激しく揺らめきます。コロナ中断中に暖めていたもので、クリスマスツリーの様な点滅する品のない照明はしていません。浜地域の住人に聞いても、間接照明は少しずつ増えてきているようですが、揺らめきのある照明は聞いたこともないそうですから、無いのでしょうか。回路基板設計やプログラムも含めて全て自作です。

宵宮で結果がわかるのですが、今年はおろろじて及第点でした。照明の配置も不十分で想定外が結構ありました。四隅に飾られる伊達綱の影響など、飾り付けのない屋台蔵での見え方と実際はだいぶ違いました。

年一回の晴れ舞台！さて来年はどうしようか、と今から夢は膨らみます。

119号を読んで

及川真紀子（亡き近藤会員のお嬢様）

「益田信行様の手記」思わず大笑いしてしまいました。すみません

お辛い痛い思いをされしかも自転車免許返納までに追い込まれた益田様には大変失礼なこととは言え災いさえも笑いに変換してしまう関西人の気質、開き直り、ユーモアを感じてしまいました。夢前川は大昔、山陽特殊製鋼の社宅に住んでいた頃、家族5人でサイクリングに行った思い出があります。父が最後にお世話になった病院も夢前川の近くにありました。

さあにぎやかにいただく川本様のお言葉も勉強になります。食欲の秋バランスを考えながら旬の食材を楽しみたいですね。

こわれたシューズで ZOZO 観戦

前田外美子

以前、習志野 CC メンバーであったのでこの地での ZOZO 開催には、気合も入っていた二日間であった。ギャラリーはロープが張ってある傾斜地を選手を追いかけて観戦する。かなりバランスの悪い歩き方しか出来ない。歩き始めて右足に異変が起こった。シューズの底がパッキリ口を開けている。左にもその兆候がある。咄嗟の判断ができ、帽子のひもを外して靴に括り付けた。途中の売店で紐を半分に切って貫き左足も固定した。体勢を崩しながらも、丁寧に歩くことに神経を使った。ともかく一日中歩かなければならないから。

以前に姫路のゴルフコンペで同組のメンバーの靴がかかとを残してパクパクしてしまった。そのときたまたま持っていた紐で括り付けて差し上げ、無事続行。3か月後そのコンペで、括り付けた紐のシューズ。思わず先生！（弁護士）どうしてそのままなんですか？と尋ねたら娘（シューズのデ

ザイナー）がアメリカから送ってこないからと。その3か月後、見事なメッシュの入ったブルーのシューズに変わっていた。すごく満足そうな先生であった。

ゴルフ観戦の途中、帽子や靴やシャツまでくっきりオレンジの賑やかなグループに出会った。リッキー、リッキー！と声があがる。リッキー ファウラーの親衛隊とか。肝心のファウラーの帽子はとてもぼやけたオレンジに笑えた。壊れたシューズは壊れてほしくなかった。たまたま通販で見つけて、もしサイズが合わなくても飾っておくだけでもいいと思うほどの底まで美しいシューズで永年大切にしてきた。ZOZO 観戦のためわざわざ姫路から東京に送った靴である。全コース、23000歩を二日間完走のまだまだ未練のあるけなげな靴の最後となった。

追記： 間近で見た石川遼には、すごく風格を感じ迷いのないプレースタイルをみる事ができた。

悲喜こもごも歩けた、歩けたのゴルフ日和であった。観衆1万人超がうごめいた日でもあった。

『4万 km を歩いた男、伊能忠敬の「人生二度有り」』

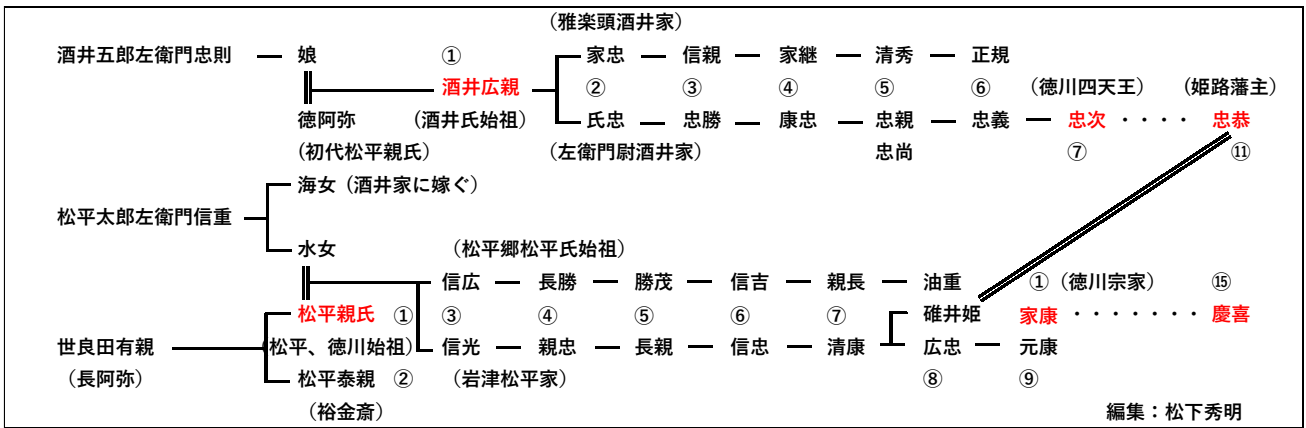
（シリーズその22）

松下秀明

意外と緊密な姫路藩と徳川家、酒井家、池田家との関係

酒井氏と松平氏の出自に関しては、清和源氏新田氏流であることを主張するため、家康以降に捏造されたことは有名であるが、いろいろな説があるので、あえて私なりにそれぞれの家系をつなげて図にまとめ直してみた。

まず酒井家の家系であるが、西三河坂井郷に住む土豪の酒井五郎左衛門忠則は連歌



松平親氏(徳阿弥)が酒井家、松平家、徳川家の始祖となる家系図

の会で徳阿弥(上州・世良田出身の時宗の僧で、後の松平親氏)に会い、その見識に感銘を受け「娘の婿になってくれれば家を譲る」と申し出たところから始まっている。この徳阿弥は父の長阿弥と共に南朝狩りを逃れて僧侶になったが、歌にも秀でており連歌師として各地を放浪していた。もともとは世良田の武士で武術にもたけており、酒井家の領土を広げるのに大いに貢献した。

徳阿弥は申し出を受けて娘と結婚し、授かった息子が酒井広親である。広親は長男氏忠を設け左衛門尉(さえもんのじょう)酒井家の始祖となる。その7代目が徳川四天王の一人、酒井忠次(NHK 大河ドラマでは大森南朋氏が演じる)である。11代目が後の姫路藩主酒井忠恭(ただずみ)である。次男家忠は、雅楽頭酒井家の始祖となる。

酒井忠次は父の代から家康の父広忠に仕え、家康の義理の叔父でもある。竹千代とは15歳の差があったが、6歳で織田家、8歳で今川家に人質に出された竹千代に付き添って守ってきた人物で、徳川四天王の一人として大きな戦績で貢献をした。桶狭間の後、忠次は家康の叔母・碓氷殿を妻に迎え、家康と姻戚関係となっている。彼女は松平清康と於富の方の娘であり、はじめ松平康高に嫁いたが、桶狭間合戦で夫が討死したのちに忠次と再婚。こうして忠次は一層、家康との結びつきを強めた。しかし、家康の自慢の息子だった信康が信長に切腹

を迫られ、忠次に交渉を期待したが助けられなかった結果、家康との間にわだかまりが生じ、徳川四天王の中でも冷遇された。

余談であるが、なぜ上野国前橋藩(現在の群馬県)の藩主である酒井忠恭が姫路に国替えをしたのか。その理由は、前橋藩は利根川の水害で年々財政が悪化しているため国替えを画策し、気候が温暖で豊かな姫路藩を願い出て実現したのであった。ところが移転後に台風による大水害を被り、さらに「天明の大飢饉」がおこり、73万両の借金を大名貸などにした。この危機に現れた救世主が以前に述べた河合寸翁であった。寸翁は姫路木綿や和菓子を藩の専売品として江戸や大坂に売り込み、借金を返済してなおかつ膨大な蓄財をすることができた。

次に松平家の家系である。親氏の最初の妻は出産後すぐに亡くなり、しばらく独り身であったが、ある時松平郷を領する有力な豪族で庄屋でもある松平太郎左衛門信重と出会い、同じように武芸と教養を買われて「娘の婿になってくれれば家を譲る」と言われた。弟の裕金齋も救ってくれるという条件で、次女水女(みずめ)の婿養子となり、松平郷を継承することになった。親氏急死のあと息子でない弟の裕金齋(泰親)がわずか3年半の期間、2代目として松平家を継いだ。3代目は親氏の次男信光で、9代目が元康つまり家康となる。ここからが徳川宗家の始まりとなる。

堀口菜純氏の『徳川家・松平家の51人』に、松平信重との出会いが詳しく書かれている。後世に書かれた『松平氏由緒書』に経緯が詳細に書かれているので、少し引用したい。「三河国加茂郡松平郷に中桐と呼ばれる屋敷があった。(中略)この屋敷の持ち主は松平郷に広い領地を持つ有力者で、名は信盛といった。その信盛の嫡男は信重とって、本屋敷の外の屋敷に住んでいた。後に信盛が亡くなると信重が本屋敷で暮らすようになった。(中略)ある日のことである。雨が降り続いたので、これは好都合と同じ趣味の人を呼び集めて連歌の会を開いた。しかし書き役になる人がいなかったため、なかなか始めることが出来なかった。その時、ふらりと立ち寄ったような旅人の姿があることに気がついた。旅人の名は徳翁といい、(中略)信重からどうしてもと懇願されたので書き役を引き受けることにした。そして座の中央に座ると半紙を手にとり、読まれた歌を完璧に書き記したのだった。(中略)徳翁は少しも臆することなくその場にいた誰よりも素晴らしい歌を詠んだ。(中略)信重は「わたくしには息子はおらず、娘が二人おります。長女は嫁ぎましたが、次女はまだ屋敷におります。(中略)ぜひとも次女と縁を結び、この地に末永く留まってください」といってますます徳翁を引き留めた。徳翁は不審な話だと思ってしばらく思案したが、弟を当地に呼び寄せることを条件にこの縁組を承諾した」と、松平家の始祖の成り立ちを説明している。

徳翁は『三河物語』に出てくる徳阿弥のことである。最初の結婚では徳阿弥のままだったが、二度目の結婚で松平姓を名乗った。この『松平氏由緒書』は、明治十四年に編纂された松平太郎左衛門家の家老に伝わる文書で、かなり詳しく具体的に書かれ

ているので、『三河物語』などよりも信憑性が高いとされている。(つづく)

以上

第51回姫路南 PC ゴルフコンペ結果 令和5年10月30日 赤穂国際GC

	グロス	HDCP	ネット
1位 坪田一夫	93	24	69
2位 前田外美子	97	28	69
3位 市河保俊	99	25	74
4位 中野剛	95	19	76
5位 大橋一喜	118	35	83

第7回姫路南・赤穂・相生合同ゴルフ結果 令和5年10月30日 赤穂国際GC

	グロス	HDCP	ネット
8位 坪田一夫	93	17	74
14位 市河保俊	99	19	80
17位 大橋一喜	118	36	82
19位 前田外美子	97	14	83
20位 中野剛	95	10	85





ゴッホ

編集後記

10月は家島でグルメの旅、11月は神戸新聞播磨製作センター見学会へと2か月連続で部外例会を実施。晴天に恵まれ新鮮な気持ちで新しい発見ができたと思います。年末を迎えるにあたり二水会誌が楽しい会報になりますよう皆様のご意見とご援助をお願いします。N

姫路南プロバスケットクラブ広報誌

姫路市南駅前町 100 ホテル日航姫路 601 号室

姫路南ロータリークラブ事務局内

電話 079-224-8224

会報発行：広報委員会